

「令和8年度施政方針並びに予算編成大綱」の要旨

- 市長に就任して以来、このふるさと伊勢原市が未来へ向けて力強く歩みを進めるため、様々な行政課題の解決や公約の実現に向け、真摯に、スピード感を持って市政運営に努めてまいりました。
- 本市の経営資源となり得る環境の変化として、新東名高速道路のインターチェンジの開通により、交通アクセスが飛躍的な向上を遂げ、伊勢原大山インターチェンジ周辺において産業拠点整備が進められています。さらには、小田急電鉄株式会社の総合車両所建設計画の進捗や、都市計画道路田中笠窪線の整備が進むなど、本市の持続的な発展に向けた都市基盤の整備が一步一步確実に進んでいます。
- 令和8年度は、本市が将来にわたり持続的に発展していくための重要な転換期となりますので、これまで培ってきた歴史と文化を大切にしつつ、新たな時代の潮流を捉え、未来を見据えた持続可能なまちづくりを強力に推進していく必要があるものと考えています。
- 市民の日々の暮らしを取り巻く環境は厳しさを増している状況にあり、未来へ向けた投資的な事業を計画的に展開しつつ、持続的な行政サービスを提供していくため、実行力のある舵取りが求められているとの認識です。
- こうした状況を踏まえ、令和8年度予算は、第6次総合計画で掲げる将来都市像「暮らしやすさ実感都市 伊勢原」の実現に向けて、直面する諸課題に適切に対応し、全ての市民が安心して住み続けることができるように、また、選ばれるまちとなるように、「経営的な視点から事務事業の見直しに取り組み、未来へつなぐ予算」を基本的な方針として編成することといたしました。
- 未来の経営資源となる都市基盤整備を図り、市民の皆様の安心・安全で豊かな都市生活の実現と、都市経済の活性化等を推進するとともに、必要な行政サービスの継続性を確保し、一步ずつ、着実に事業の充実を図ることを基本としました。
- 予算計上事業にあっては、改めて事業の内容、実施方法等をしっかりと精査して、必要最小限の額とすることといたしました。
- 施策の推進に伴い生じます財源不足への対応として、残高をしっかりと確保した上で、財政調整基金を繰り入れ、施策推進と財政健全化とのバランスを図りながら、責任ある財政運営の推進に努めてまいる考えです。

第6次総合計画・実施計画に位置付ける重点事業（主なもの）

「防災・安全分野」

- 防災通信網整備事業
- 避難所マンホールトイレユニット整備事業

「福祉・保健分野」

- 重層的支援体制整備事業
- 在宅重度要介護者等タクシー利用助成事業
- 発達障がい児者及び家族等支援事業

「子育て・教育分野」

- 子育て家庭紙おむつ等支給事業
- 妊産婦健康診査等助成事業
- 産後ケア事業
- 保育体制拡充事業
- 不登校対策強化事業費
- 市立小中学校在り方検討事業
- 小中学校体育館空調設備整備事業

「産業・環境分野」

- 中小企業先端設備導入促進事業
- スマート農業等導入支援事業
- カーボンニュートラル推進事業
- 資源リサイクルセンター管理運営事業

「都市基盤分野」

- 三ノ宮土地利用推進事業
- 新たな地域拠点整備推進事業
- 伊勢原駅北口市街地整備推進事業
- 伊勢原大山インター土地区画整理推進事業
- 都市計画道路田中笠窪線整備事業
- 安全な歩行空間整備事業
- 空き家対策推進事業
- 公共交通空白地区等対策事業

「市民・行政分野」

- 新たな歳入創出事業
- 市民文化会館施設改修事業
- 行政手続オンライン化推進事業